

あなたと家族を  
守るために

# 原子力 防災のしおり



さつ ま せ ん だ い し  
薩摩川内市

# はじめに

## 1 原子力災害とは

原子力災害とは、原子力発電所で事故が発生した場合に、放射性物質が外に漏れて、環境や住民に影響を及ぼす災害のことです。

原子力災害は適切な対応をとることで、被ばくや汚染を抑えることができます。

国や県、薩摩川内市からの正しい情報に従い、落ち着いて行動することが大切です。

## 2 原子力災害の特徴

放射性物質から放出される放射線は目に見えず、味やにおいも感じることができません。

そのため、原子力災害の場合は、地震や風水害、火災などとは違い、身体への影響の程度や、どのように行動すればよいかを自ら判断することが困難です。



## 目次

## contents

1. 広域避難計画について ..... 2P
2. 原子力災害時の避難について ..... 2P
3. 災害が発生した時の Q&A ..... 6P
4. 日ごろからの備えについて ..... 7P
5. 避難所における感染症対策について ..... 9P
6. 用語の説明 ..... 10P

## 1 広域避難計画について

住民の皆様は原子力発電所で事故が発生した場合、状況によっては、自治会ごとにあらかじめ指定した避難所に避難していただきます。なお、避難施設などにつきましては、防災ホームページでご確認ください。

## 2 原子力災害時の避難について

原子力発電所に何らかの異常や放射性物質が漏えいした場合、すぐに避難するというわけではありません。避難が必要な地域や住民の皆様に対し、市などから避難開始の指示をさせていただきます。

### 1 情報伝達について

災害時の状況については、屋外放送・戸別受信機・広報車・市のホームページ・市の公式LINE・エリア(緊急速報)メール・県原子力防災アプリ・テレビ・ラジオなどで広報します。

### 2 医療機関などの避難について

**入院中の方** → 病院や市または、他の機関の支援により各医療機関などへ避難します。

**寝たきりの方** → 地域住民や市などの機関の支援により各福祉施設などへ避難します。

**妊婦・幼児の方** → 自主避難が基本となりますが、困難な場合は地域住民や市などの機関の支援により各避難場所へ避難します。

**児童・生徒の方** → 帰宅の後、家族との自主避難となりますが、困難な場合は市などの機関の支援により各避難場所へ避難します。

### 3 避難の方法

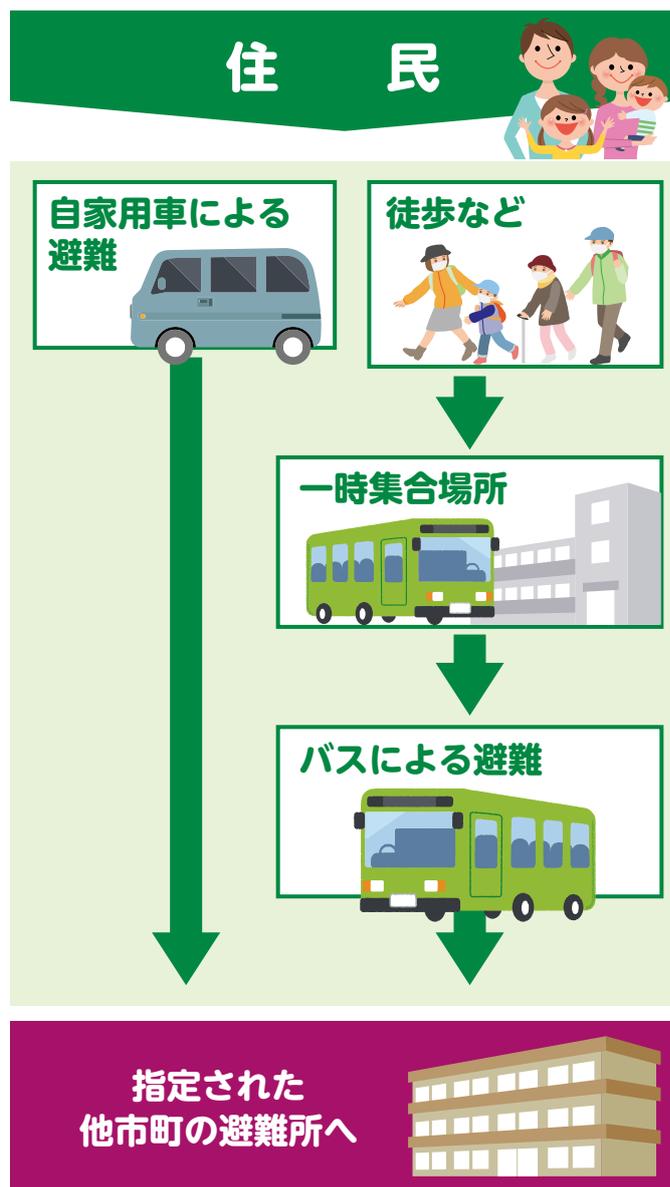
- 1 避難所まで原則、自家用車で避難していただきます。
- 2 自家用車で避難できない場合は、自治会の一時集合場所へお集まりください。市などが準備した車両で避難していただきます。



## 4 <sup>びーえーぜっと</sup> P A Z対象地区の避難について

原子力発電所からおおむね半径5 km以内の範囲で、放射性物質が放出される前から予防的に避難などを準備する区域を「<sup>びーえーぜっと</sup> P A Z」といいます。

滄浪地区・寄田地区・水引地区・峰山地区の全てが該当します。



### 避難を開始する基準例

#### 原子力発電所の状況(例)

- 震度6弱以上の地震が発生した場合など
- 原子炉の冷却水が大量に漏洩した場合など
- 原子炉内燃料棒が損傷した場合など

#### 住民の皆様の行動

- 要配慮者の避難準備
- 要配慮者の避難、住民の避難準備
- 住民の避難

## 5 <sup>ゆーびーぜっと</sup>UPZ対象地区の避難について

原子力発電所からおおむね半径5 kmから 30kmまでの範囲で、緊急的に身を守るための避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の服用を準備する区域を「UPZ」といいます。

亀山地区、可愛地区、育英地区、川内地区、平佐西地区、平佐東地区、隈之城地区、永利地区、八幡地区、高来地区、城上地区、陽成地区、吉川地区、湯田地区、西方地区、藤本地区、野下地区、市比野地区、樋脇地区、倉野地区、副田地区、清色地区、朝陽地区、大馬越地区、八重地区、斧淵地区、南瀬地区、山田地区、烏丸地区、藤川地区、上手地区、大村地区、轟地区、藺牟田地区、里地区、上甕地区の一部(中野、上甕町江石)の全てが該当します。

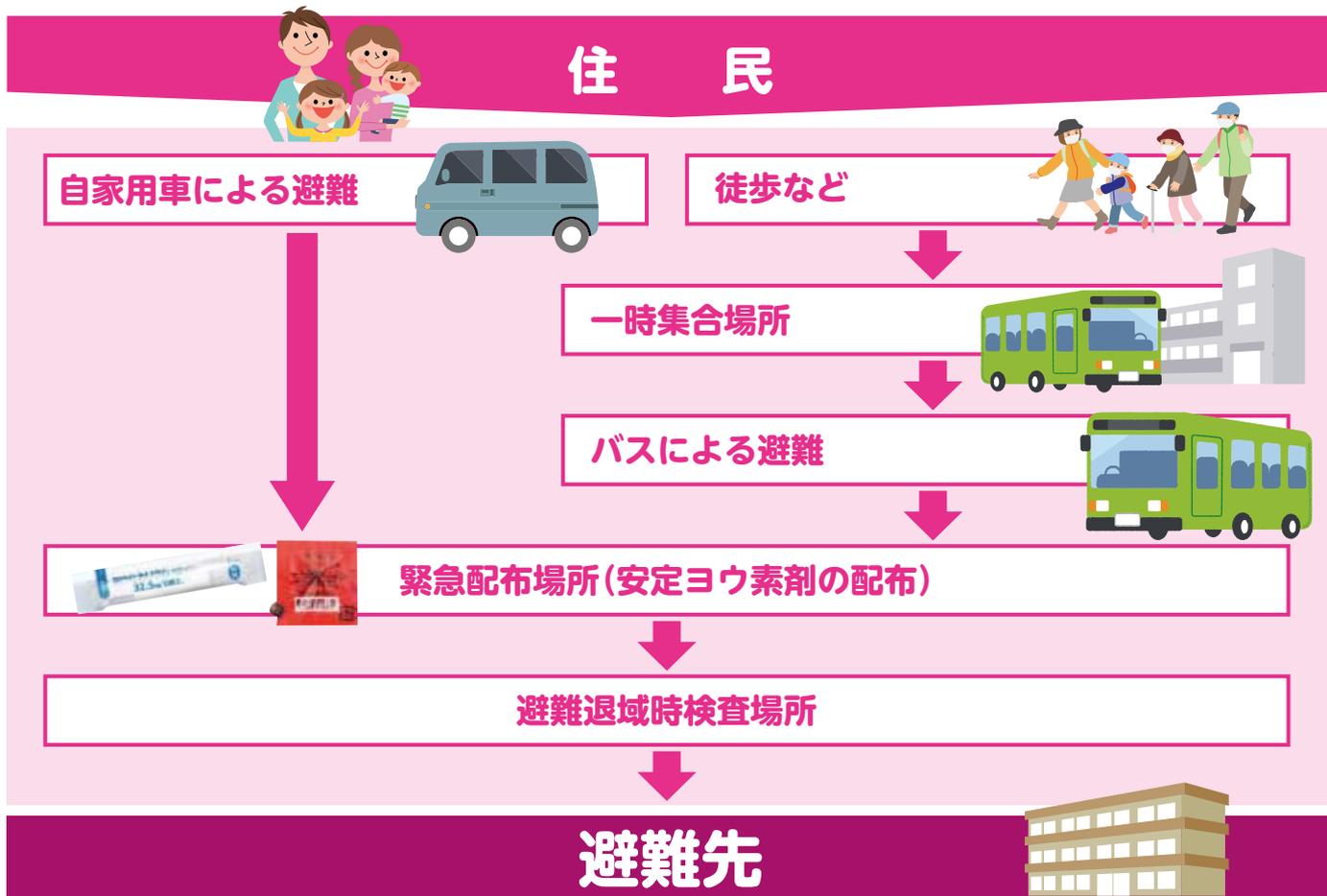
※ 1

一時移転

1時間あたり **20  $\mu\text{Sv}$ 以上** の空間放射線率となった地区

避難

1時間あたり **500  $\mu\text{Sv}$ 以上** の空間放射線率となった地区



### 避難を開始する基準例

※ 1 <sup>まいくろしーべると</sup> **20  $\mu\text{Sv}$  / 時を超えた地区**



一日以内に区域を特定し一週間程度内に避難

<sup>まいくろしーべると</sup> **500  $\mu\text{Sv}$  / 時を超えた地区**



数時間以内に区域を特定し避難

びーえーぜっと ゆーびーぜっと  
PAZ・UPZの範囲地図



# 3

## 災害が発生した時のQ & A

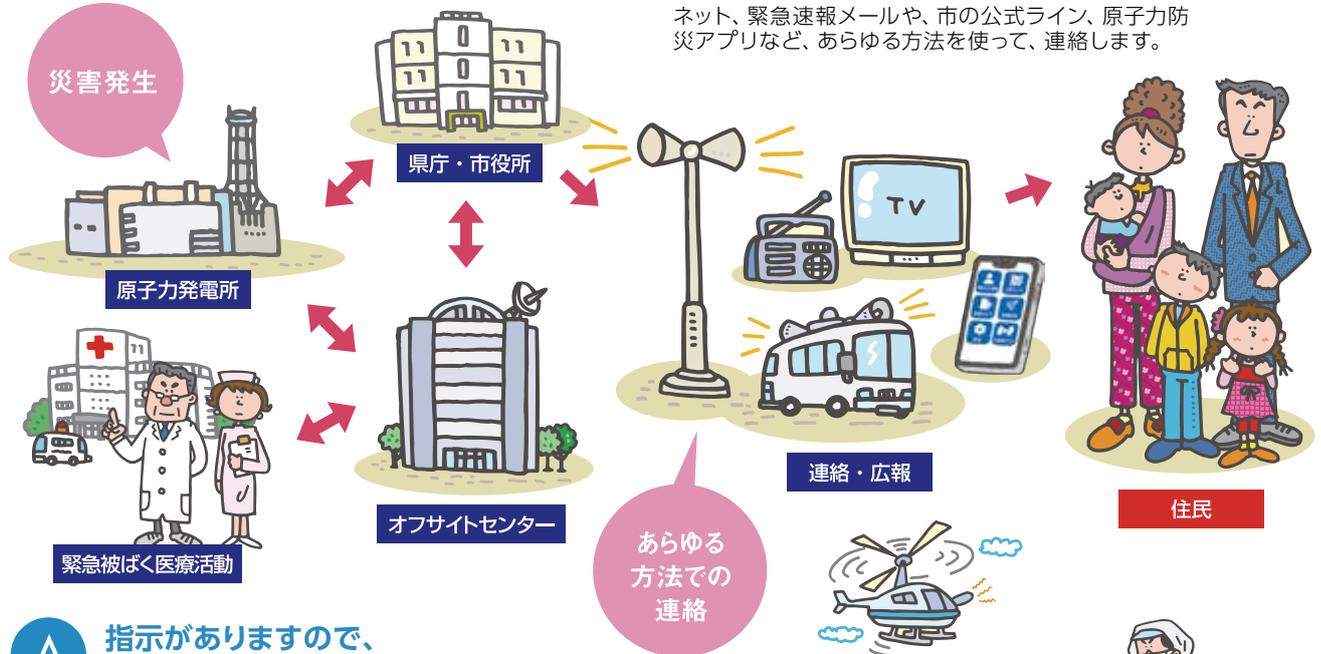
### Q.1

### 災害が発生したらどうなるの？

#### A

さまざまな方法で連絡があります。

防災行政無線（戸別受信機）、テレビ、ラジオ、インターネット、緊急速報メールや、市の公式ライン、原子力防災アプリなど、あらゆる方法を使って、連絡します。



#### A

指示がありますので、注意して聞いてください。

万が一、原子力施設で異常事態が発生した場合、「緊急時モニタリング」を行い、周辺地域の放射線量・放射能濃度が測定され、災害の状況を把握して、的確な対策を講じます。それに基づき、どのようにすべきかを指示しますので、注意して聞き指示に従ってください。

### Q.2

### 災害発生時の広報を聞いたら何をするの？

#### A

放送やインターネットなどの指示を確認して行動しましょう。

災害の状況、対応状況、今後の予測、皆さんへの指示など、安全のために必要な情報を、わかりやすく、具体的に、くりかえしお知らせします。落ちついて、注意して情報を収集し行動してください。

テレビ、ラジオから正しい情報を！



インターネットで確認する  
(県や市のホームページなど)

#### A

指示に従い混乱がおさまるまで待ちましょう。

原子力災害は地震や台風のような災害とは異なります。在宅の場合は戸別受信機などの放送に従ってください。



災害時には電話の使用は避けましょう

災害時に電話が殺到すると、かかりにくくなりますが、災害時でもかかりやすい伝言サービスとして、「災害用伝言ダイヤル(171)」があります。詳しくは171番にかけると案内されます。



# Q.3

## どんなことに気をつけるの？

**A** 正しい情報をもとに落ち着いて行動しましょう。

災害の混乱の中では、誤った情報が広まることもあります。市などが報じる正しい情報や指示を待って、あせらずに行動することが重要です。



人ごみでは特に注意が必要です

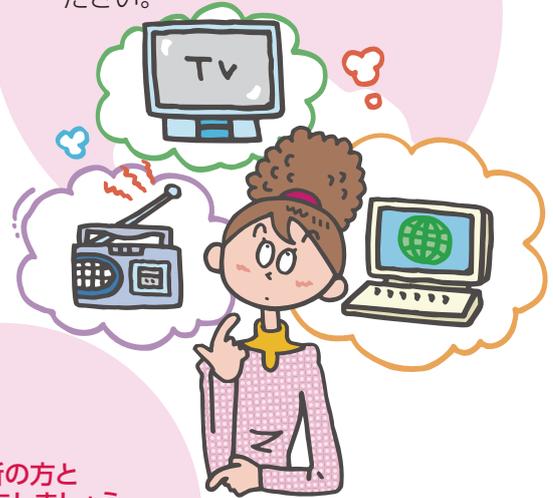
多くの人が集まる場所や道路では、警察官や消防士などの指示に従って落ち着いて行動してください。

ご近所の方と情報確認をしましょう

お年寄りや体の不自由な方には、特に声をかけましょう。

### うわさやデマに注意!

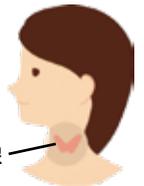
県や市からの正しい情報に当たって行動しましょう。おかしいと思ったら、テレビやラジオなど、複数の公共放送などで確認してください。



## 4 日ごろからの備えについて

### 1 安定ヨウ素剤について

安定ヨウ素剤とは、「ヨウ化カリウム」を飲みやすい形にしたものです。原子力災害時に、放射性ヨウ素が放出されることがあります。安定ヨウ素剤を予防的に服用することで、放射性ヨウ素がのどの近くにある甲状腺に蓄積することを減らすことができます。



#### 安定ヨウ素剤ってどんなもの？

- 丸剤と小児用のゼリー剤があります。



#### いつどこでどれくらい飲むの？

- 1回の服用が原則です。

- 5km圏内(PIAZ対象地区) → 住民に事前に配布することとしています。避難の指示とあわせて服用が指示されます。
- 30km圏内(UPZ対象地区) → 公共施設などに備蓄しており、緊急時に配布することとしています。服用については別途指示があります。  
※ 30km圏内でも一定の要件に該当し、希望される方を対象に配布します。
- 服用量 ・ 3歳児未満…ゼリー剤 ・ 3～12歳…丸剤1丸 ・ 13歳以上…丸剤2丸

## 2 もしもの時に備えて(チェックリスト)

緊急時の指定された一時集合場所・避難場所を記入しましょう！

一時  
集合場所

避難  
場所

### 用意したい非常持ち出し品

- |  |                                |  |                                |
|--|--------------------------------|--|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水(1日3ℓ)       | <input type="checkbox"/> 非常食   | <input type="checkbox"/> 現金・貴重品          | <input type="checkbox"/> 懐中電灯  |
| <input type="checkbox"/> 応急医薬品           | <input type="checkbox"/> 常備薬   | <input type="checkbox"/> ホイッスル           | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ |
| <input type="checkbox"/> 衣類(下着類)         | <input type="checkbox"/> タオル   | <input type="checkbox"/> 雨具              | <input type="checkbox"/> 携帯電話  |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ |                                | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん     |                                |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋           | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | <input type="checkbox"/> 携帯電話予備バッテリー・充電器 |                                |
| <input type="checkbox"/> マスク             |                                |  | など                             |

#### ◆ 女性は

- 生理用品  身だしなみ用品

#### ◆ 乳幼児やこどもは

- オムツ  ミルク  おもちゃ

#### ◆ 高齢者は

- 老眼鏡  介護用品



### ★これだけはポイント

・原子力災害時は、放射性物質の吸引や付着を防ぐための物も用意しましょう。

- マスク  帽子  長袖・長ズボン  雨具  安定ヨウ素剤(PIAZの対象者)

・バスで避難する方の荷物は、男性は15kg程度、女性は10kg程度を目安に準備しましょう。

・自家用車で避難する方は、日ごろからガソリンの残量が燃料タンクの半分になったら給油しておきましょう。



## 3 情報の確認について さまざまな情報を確認することができます。

薩摩川内市  
公式LINE



鹿児島県  
原子力防災アプリ  
(Android用)



鹿児島県  
原子力防災アプリ  
(iOS用)



原子力文化財団  
動画



出典：日本原子力文化財団  
「原子力防災シュミレーション」

## 5 避難所における感染症対策について

### 避難を検討される市民の皆様へ

- お住まいが避難対象区域の方は、避難所だけでなく、安全な親戚・知人宅に避難できるよう、あらかじめ連絡を取るなどの準備をお願いします。
- 避難される場合には、ご自身で必要なものをお持ちください。  
可能な限り、必要な備蓄品(食料、飲料水、懐中電灯)の他、感染症対策として、**マスク・体温計・アルコール消毒液**などをお持ちいただくようお願いします。



### 避難をされた市民の皆様へ

- 基本的な衛生対策を徹底してください。  
※マスク着用・手洗い・咳エチケットなど
- 避難者同士概ね 2 m 間隔をとるようにしてください。
- 十分な換気を行うよう心がけてください。
- 発熱や咳などの症状がある場合は、すぐに避難所の担当者に報告してください。  
別の避難所へ移動していただく場合もあります。

### 手洗い5つのタイミング



帰ってきた時



咳やくしゃみ  
鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



病気の人を  
ケアした時



外にあるものを  
触ったとき

### 3つの咳エチケット



マスクを着用



ハンカチなどで  
口、鼻を覆う



袖で口・鼻を  
覆う

## 6

# 用語の説明

## 1 屋内退避

原子力災害時に、被ばくを最小限に抑えるため、建物内に退避することです。全ての窓、扉を閉めるとともに、全ての空調設備、換気扇などを止めて、屋内への外気の流入を防いでください。また窓や扉など、外気の流入する場所を離れて屋内の中央にとどまってください。 ※地震による家屋倒壊などにより、家屋での屋内退避が困難になった場合は、地区コミュニティセンターなどの避難所に避難してください。



## 2 避難

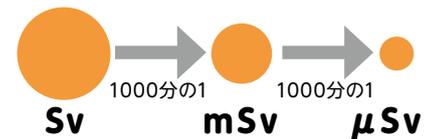
原子力災害時に、原子力発電所の状況や空間放射線量率の測定結果に基づき、自治会ごとにあらかじめ指定した避難所に移動していただくことです。原則、避難所までは自家用車による自主避難になります。移動の手段が確保できない場合は、あらかじめ指定した自治会の一時集合場所より市などが手配した車両による避難となります。避難所以外に避難しても構いませんが、その際は自治会長や隣人などに避難場所を連絡して移動してください。



## 3 シーベルト(Sv)

人体への影響をあらわす単位のことです。

ミリシーベルト(mSv) マイクロシーベルト( $\mu$ Sv)



## 4 要配慮者

高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、授乳婦その他の特に配慮を要する者のことです。なお、PAZ 圏内の要配慮者のうち、一人で避難することが困難な「避難行動要支援者」については、「避難行動要支援者名簿」を市が作成しており、市や関係機関による避難の支援を行います。



